

将来像の実現に向けて

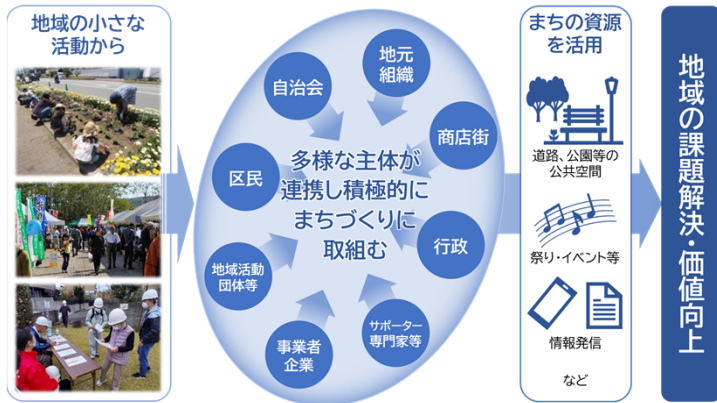
【官民連携のまちづくり】

まちづくりの取組を進めていくためには、住民(区民・自治会・商店街等)、民間事業者、行政など多様な主体が連携して進めていく必要があります。

様々な取組のひとつとして

【エリアマネジメント】

地域の課題解決や価値向上を図るため、地域の小さな活動を継続・発展しながら、公共空間などの地域資源を活用するエリアマネジメントの取組を推進します。



【多様な主体が連携する取組によるまちづくりの推進イメージ】

その他 ご意見・感想など(勉強会終了後のアンケートなどの抜粋)

勉強会を終えての感想

- ・他のグループの意見では、将来の子供たちのことを考えていたので良かった。
- ・さまざまな意見が出て、将来のまちをイメージしやすかった。
- ・それぞれの課題に対する打ち手は一つではないと感じた。
- ・道路整備などイメージしづらく、本当に実現できるのかと感じた。

その他のご意見・ご要望など

- ・若い世代がもっと気軽に意見を出せる場や手段が欲しいと感じた。
- ・地区住民が参加する協議会、勉強会などの目的や位置付けを明確化してほしい。
- ・まちづくり勉強会終了後も関与する方法があると良い。今後も継続して活動に協力したい。
- ・勉強会の最終回、充実した内容になるように期待している。

次回(第8回)の勉強会について【最終回】

テーマ：～「高砂地区まちづくり方針(仮称)」について～

- ・「高砂地区まちづくり方針(仮称)」のまとめの報告
- ・次年度以降の進め方(予定)

以上について、皆さんで最終確認を行います。

日程：令和7年2月26日(水)19時から
場所：高砂地区センター 3階ホール



高砂地区のまちづくりに興味のある方は、**どなたでも参加できます!**ぜひ、直接会場にお越しください



(HPIはこちら)

発行元：高砂地区開発協議会 会長 関根芳夫

協力：葛飾区 都市計画課 高砂地域整備担当係 黒崎、松本、鈴木

<連絡先> 電話：03-5654-8344(直通) FAX：03-3697-1660

HP：「高砂地区開発協議会について」

高砂地区

まちづくり勉強会ニュース

第7号
令和7年2月

令和6年12月に第7回の勉強会を開催しましたので、その内容をお伝えします。なお、この会は、高砂地区開発協議会主催の勉強会となります。

第7回 高砂地区まちづくり勉強会

日時：令和6年12月11日(水)
場所：高砂地区センター 3階ホール
参加者：勉強会会員 23名(自治町会及び商店街からの推薦者及び一般公募者)
会員以外 6名(当日の自由参加者) 合計 29名

内容：『まちづくり勉強会の振り返り・取りまとめの方向性』をテーマに開催



【第7回勉強会の様子】

前半は、これまでの勉強会における話し合いを「高砂地区まちづくり方針(仮称)」として取りまとめたものを共有し、将来のまちづくりの実現に向けて、他地区の取組事例などを勉強しました。後半は、「まちづくり方針の取組(案)」について、ワークショップで議論しました。

勉強会で話し合った成果を『高砂地区まちづくり方針(仮称)』として取りまとめます

「高砂地区まちづくり勉強会」では

高砂地区のまちづくりの具体化に向けて、地区の課題を踏まえ、まちづくりの方針や取組などについて、各回テーマを決めて勉強し、意見交換を行ってきました。

『高砂地区まちづくり方針(仮称)』

- 1 まちの現状
- 2 まちの課題
- 3 まちの将来像
- 4 まちづくりの方針
- 5 まちづくりの取組
- 6 将来像の実現に向けて



次年度以降の進め方(予定)

- STEP1: 勉強会で取りまとめた成果を協議会総会で報告
STEP2: まちづくり方針(仮称)を地域へ周知し、意見集約
STEP3: 協議会を通じて、地域のまちづくり提案として区へ提出予定

まちづくりの方針(案)

これまでの勉強会において、都市基盤、交通ネットワーク、公共交通、活性化、住環境、自然環境、防災 など、高砂地区が抱える様々な課題について、多くの意見をいただきました。

これらの課題を解決し、目指すべき、まちの将来像を実現するために、次の5つの方針(案)を定めました。

- 方針1 だれもが安心して回遊できるまち** (交通)
 - ・駅前広場や幹線道路、歩行空間の整備の推進等
- 方針2 歩いて楽しく、訪ねてみたい賑わいのあるまち** (活性化)
 - ・3つのエリアが一体となった魅力的で愛着の持てるまちづくり等
- 方針3 昔ながらの情緒が残る文化的で住みやすいまち** (住環境)
 - ・地域に住む人が豊かに暮らし憩えるための環境整備等
- 方針4 豊かな自然を活かした多世代が憩えるまち** (緑・水辺)
 - ・水辺空間の活用や緑の多い街並みづくり等
- 方針5 災害にも強い安全・安心なまち** (防災)
 - ・安全に避難できる道路・駅前広場・公園等の整備等

ワークショップ まちづくり方針（案）の取組について 《第1回～第6回の勉強会の取りまとめ & 第7回意見》 抜粋

当日のワークショップでは、これまでの勉強会の意見を取りまとめた「まちづくり方針の取組（案）」について、追加・修正したい内容や、その取組の実施場所について意見交換を行い、発表を行いました。
 ※当日の意見（付箋コメントなど）を可能な限りそのまま記載していますが、一部読みやすいように修正しました。

方針1 だれもが安心して回遊できるまち

取組1-1 人を中心とした交通環境の創出

- ・歩行者、自転車、みんなが安心して往来できる道路の整備
- ・新たな鉄道車庫上空の通路設置の検討

交通

取組1-2 自転車利用環境の向上

- ・自転車と歩行者を分けた安全な道路の整備
- ・駅周辺や商店街における適正な駐輪場配置

取組1-3 自動車ネットワークの充実

- ・拠点間を結ぶ通行しやすい道路の整備
- ・線路南北の交通ネットワークを強化する道路の整備

取組1-4 幹線道路の整備

- ・都市計画道路や駅前広場の整備
- ・アクセス道路の拡幅と安全な通行空間の確保

取組1-5 新たな交通機能の検討

- ・次世代モビリティの利用を見据えた道路づくりの検討

【当日の意見】

- ・道路の整備については、日頃から歩行者などが安全に通行でき、災害時にも対応した安全・安心な道路づくりを進めてほしい。
- ・高砂駅周辺のリングロードをまちのランドマークにすると良い。
- ・誰もが移動しやすい道路ネットワークづくりの構築が必要。
- ・自動運転やグリーンスローモビリティ等の新たな交通機能の導入を検討する。

方針2 歩いて楽しく、訪ねてみたい賑わいのあるまち

取組2-1 3つの拠点エリアと拠点連携のまちづくり

- ・エリアの機能や特性を強化した拠点エリアの整備

活性化

○ 駅前拠点エリア

- ・まちの顔となる商業地
- ・広域拠点としての交通結節点機能の強化

○ 駅東拠点エリア

- ・都市機能が集積した複合市街地
- ・賑わいを生み出す複合機能の導入

○ 創出用地エリア

- ・創出用地の活用による地域の活性化
- ・鉄道の立体化や車庫移転に対応したまちづくり

取組2-2 歩いて楽しくなる交通環境の向上

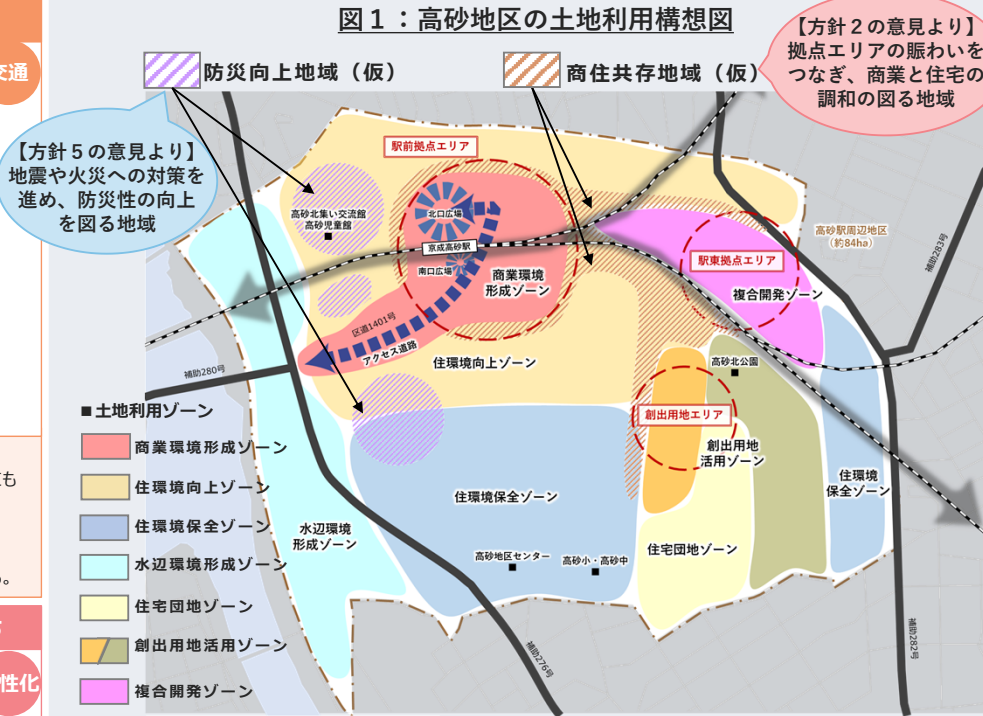
- ・鉄道の側道を歩行者・自転車のための空間として活用
- ・高砂駅から周辺に向けて、散歩しやすくなる空間づくり

取組2-3 訪ねたくなるまちづくりの検討

- ・高砂橋付近（京成線と新金貨物線交差）における「撮り鉄」等の魅力的なスポットとしての整備検討

【当日の意見】

- ・駅前拠点エリアには、歩行者に優しく、大型車が入れないような制限エリアがあると良い。
- ・駅東拠点エリア（現在の鉄道車庫）には、住宅街も検討してほしい。
- ・創出用地エリア（高砂四丁目団地）に高齢者が集まれる施設が欲しい。また、団地と駅をバス等で結べると良い。
- ・商業と住宅が調和し共存する地域があると良い。※図1参照：商住共存地域(仮)
- ・外国の方や鉄道が好きなど多様な人を呼べるようなイベントの検討をする。
- ・キーワードは「人の流れ」をつくること。



【方針5の意見より】地震や火災への対策を進め、防炎性の向上を図る地域

【方針2の意見より】拠点エリアの賑わいをつなぎ、商業と住宅の調和を図る地域

図2：高砂地区の道路ネットワーク概念図



方針3 昔ながらの情緒が残る文化的で住みやすいまち

取組3-1 安心して遊び憩える公園の整備

- ・ボール遊びできる公園（高砂北公園）の維持
- ・車庫跡地の一部を子供や大人も楽しめる公園として活用の検討

住環境

取組3-2 住みやすいまちづくり

- ・地域の祭りや伝統行事など、文化資源の継承と活用
- ・高砂音楽祭などの地域イベントの開催

【当日の意見】

- ・駅の近くに、自然が感じられる緑や公園があると良い。
- ・高砂は鉄道の街なので、車庫や線路を一望できるスポット等も検討する。
- ・地産地消の販売所、神社のお祭り等、人が触れ合える場を増やす。

方針4 豊かな自然を活かした多世代が憩えるまち

取組4-1 緑を感じられる住宅地の整備

- ・街路樹の整備
- ・地域に花や緑（フラワーボット）を増やす取組

緑・水辺

取組4-2 水辺を活かしたまちづくり

- ・中川かわまちづくりと関連し、高砂駅から中川・新中川までが連続してつながる道路の整備を検討
- ・アクセス道路を水辺につながるシンボル道路として整備

【当日の意見】

- ・幼稚園、保育園、小中学校等と連携してフラワーボットの設置・維持管理を行うなど、「地域連携型のまちづくり」を進めてほしい。
- ・駅から中川へのシンボル道路は樹木のある道路が良い。
- ・水辺空間を活かす取組として、中川かわまちづくりに期待したい。

方針5 災害にも強い安全・安心なまち

取組5-1 防災を見据えた道路の整備

- ・避難や延焼遮断の役割を持たせた幹線道路の整備
- ・細街路の解消による防災性の向上

防災

取組5-2 災害時を見据えた駅前広場の整備

- ・高砂駅前広場における災害時滞留を想定した整備の検討

取組5-3 災害時を見据えた公園の整備

- ・高砂北公園を防災公園として整備

取組5-4 地域の防災性の向上

- ・倒壊の危険性が高い木造建物の建替促進
- ・建替時の建物の壁面後退の検討
- ・面的な高台避難対策の検討
- ・鉄塔高圧線の地中化の検討

【当日の意見】

- ・高砂二・三・五丁目住宅密集地域は細街路の解消のほか、地震や火災への対策を進め、防災性の向上が必要である。※図1参照：防炎向上地域(仮)
- ・地震や水害などの災害が来る前に、道路の整備や電柱の地中化などをしてほしい。
- ・街灯、防犯カメラ、街角消火器の設置等、安全・安心なまちづくりを進める。